

Fujitsu
Technology and
Service Vision
2021

MODULE

1

時代の変曲点

新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、人々の生活様式や価値観が一変しました。もう元の形に戻ることはありません。パンデミック後の未来はどのような世界なのか？新たな世界で経営に取り組むべき優先課題とは？

- 02. 時代の変曲点
- 03. 経営の優先課題

MODULE

2

パーパスとサステナビリティ

今、パンデミックのみならず、気候変動、高齢化など多くの課題がさらに深刻さを増しています。社会の持続可能性の向上には、ビジネスの目標を定め、パーパスと社会の目標の方向性を合わせることが求められます。

- 05. パーパスとサステナビリティ

MODULE

3

未来へのシナリオ

これからの未来にビジネスや社会はどのように変化していくでしょうか？それを見据えた今後2～3年の戦略はどうあるべきでしょうか？富士通はどのようにお役に立っていけるでしょうか？

- 06. Sustainable Manufacturing
ものづくり
- 07. Consumer Experience
顧客体験
- 08. Healthy Living
健康な生活
- 09. Trusted Society
都市と社会
- 10. Business Transformation
ビジネスマネジメントの変革

MODULE

4

テクノロジービジョン

テクノロジーには、世界の困難な課題に取り組む人々を支える大きな力があります。「これまでできなかったことをできるに変えていく」、そのために富士通はテクノロジーを磨き続けていきます。

- 11. ヒューマンセントリック
イノベーション
ボーダレス・エクスペリエンス
- 12. 「いま」を拡張する
ヒューマン+テクノロジー
- 13. 複雑性を超える
再生型の社会
- 14. 事例集

パンデミック後の未来はどのような世界なのでしょうか？

2020年: リアルな日常の停止

新型コロナウイルスの感染拡大は、わたしたちの生命を脅かしたと共に、日々の生活と経済活動に大きな影響をもたらしました。2021年5月時点で、累計の感染者数は1.7億人を超え、350万人を超える尊い命が失われました。

パンデミックがもたらしたインパクト



*1 WHO、*2 IMF、*3 *6 世界銀行、*4 *5 国連世界観光機関

2020年: 危機への対応

この危機に対応するために、デジタル技術が大きな力を発揮しました。働き方、ショッピング、医療、教育等あらゆる領域でデジタル化が進展しました。2020年は、大きな時代の変曲点であったと言えます。

リモートワーク



遠隔授業

オンライン
ショッピング

遠隔医療

人の時代へ

変曲点の先には何があるのでしょうか？人の健康や社会の持続可能性がますます重要になっていきます。これからの未来では、あらゆるステークホルダーに価値を提供するB2E (Business to Everyone) 「企業からすべての人へ」、人を中心にビジネスを構築していきます。

ヒューマンセントリックな価値の提供



今後の新しい世界を形づくる5つのトレンド

5つのトレンド

変曲点の先の未来では、何が経営の優先課題なのでしょう？富士通が実施したグローバル調査*1から得られた洞察や様々な経営層の方々との対話にもとづき、新しい世界を形づくる5つのトレンドを抽出しました。

1 サステナビリティ ファースト



2 レジリエンス



3 ボーダレス ライフ



5 トラステッド な自動化



4 ビジネス= エコシステム

1. サステナビリティ・ファースト

気候変動などの世界のサステナビリティ（持続可能性）を脅かす問題への対応や、誰も取り残さない平等な社会を築くための取組みが、これまで以上に強く求められています。

サステナビリティは経営の優先課題に

78% パンデミックを契機に社会への価値提供の重要性が増した

71% SDGsに沿った社会への貢献活動を増加する

91% DXは社会への価値提供に役立った

2. レジリエンス

これまで企業は最小のコストで最大の成果をあげるために事業の効率化を推し進めてきました。しかし、今後は効率性以上に変化への対応力を重視する必要があります。

パンデミックにうまく対応できた理由

1位 アジャイルに対応した **49%**

2位 デジタル化にすでに対応できていた・対応を加速した **42%**

3位 従業員のウェルビーイングを最優先した **40%**

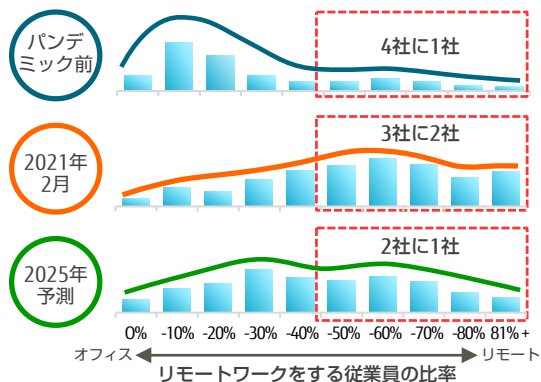
今後の新しい世界を形づくる5つのトレンド

3. ボーダレス・ライフ

今後、オフィスと家、リアルとデジタルの体験が融合していきます。富士通の調査によると、パンデミックが収束した後の2025年においても、2社に1社が40%以上のリモートワーク率を予測しています。

ハイブリッドワークへのシフト

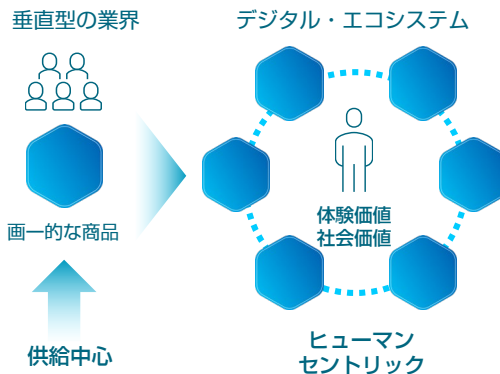
回答した企業数（総数に占める割合）



4. ビジネス=エコシステム

デジタル化によって業界の壁は崩れ、一人ひとりのライフサイクルに寄り添ったサービスや体験価値を共創するエコシステム型のビジネスモデルへの変革が加速していきます。

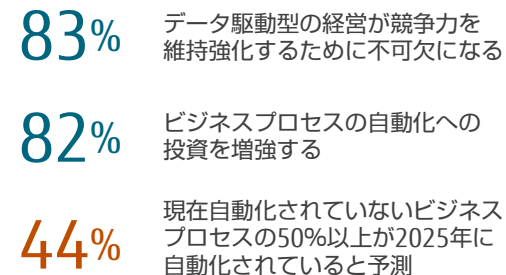
人の体験価値・社会価値を共創するエコシステムへ



5. トラステッドな自動化

富士通の調査において、82%のビジネスリーダーが「自動化への投資を増強する」と回答しています。このような自動化されたビジネスにおける、人とテクノロジーの在り方を再構想しなければなりません。

データ駆動と自動化



わたしたちのパーパス

困難な社会課題に直面する中で、ビジネスの目標と社会の目標の方向性を合わせることが求められています。

富士通は、「イノベーションによって社会に信頼をもたらし、世界をより持続可能にしていくこと」をパーパスとして定め、全社の事業活動をフォーカスさせていきます。



2030年に向けて

人・地域・企業・もの・データがつながり合い、生活者視点の価値が提供され、社会課題を解決するイノベーションを生み出していくことが重要です。そのために、以下の3つの要素を組み合わせることが必要です。



ヒューマンセントリック

誰も取り残さず、人の可能性を最大化するパーソナライズされたサービスを提供。



予測・予防

予測・予防シミュレーションによって、人々が豊かで健康的に暮らすことができるデジタル社会を形成。リアルタイム・データの解析により最善策を提示。



コネクテッド

誰もが安心してコネクティッドライフを享受できる信頼あるデジタル社会の形成。より多くのデータと知識をつなぎ、革新的なサービスを共創。

レスポンシブルビジネス

富士通では、グローバル企業として責任あるビジネスを行うための取り組みを強化しています。サステナビリティ経営の重要課題をグローバル・レスポンシブルビジネス (GRB) と定め、下記の7つの課題において、ありたい姿と2022年度のKPIを定め、活動を開始しています。



人権・多様性



ウェルビーイング



環境



コンプライアンス



サプライチェーン



安全衛生



コミュニティ

Sustainable Manufacturing

ものづくりの未来

デジタルによる人の能力拡張

デジタル技術が人を支援し、人とデジタルワークフォース^{*1}が補完的に協働し、生産性とウェルビーイングの向上を実現していきます。



*1 AI等のデジタル技術で駆動されるソフトウェア・ロボット

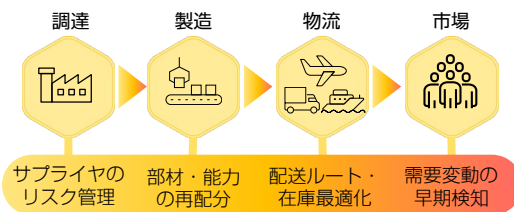
富士通の取り組み

人の活動をデジタル技術が支援する新しいプロセスの構築に取り組んでいます。

- デジタル空間でのエンジニアリング
- 生産ラインの革新
- AIを活用した予兆監視・保全

レジリエントなサプライチェーン

不確実な環境において、バリューチェーン全体をデジタル技術で駆動し、変化に対して迅速にしながらに対応する仕組みづくりが重要です。



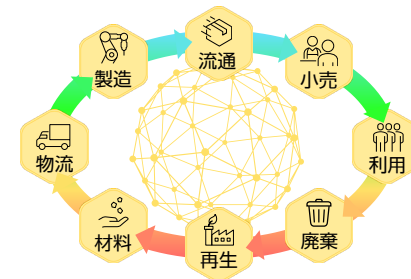
富士通の取り組み

バリューチェーン全体を可視化し、モジュラー化して最適制御することを支援し、ビジネスのレジリエンス強化に貢献します。

- リスクの可視化
- 需要変動への対応
- 製造・物流最適化

循環型のものでづくり

生産から消費、さらに再利用・廃棄・再生までのエンドツーエンドのエコシステムをつなぎ、地球環境を強く意識したものにづくりに変革していきます。



富士通の取り組み

ブロックチェーンなどのデジタル技術を活用して信頼あるデータをつなぎ、循環型のものでづくりの実現に貢献します。

- グリーン調達
- 環境志向の設計
- トレーサビリティ

リアルとデジタルの融合

一人ひとりの顧客に対して、リアルとデジタルの境い目の無いヒューマンセントリックな体験を提供することが不可欠となります。



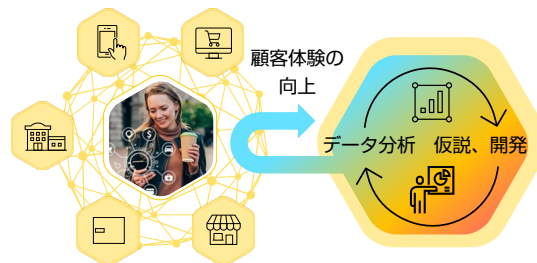
富士通の取り組み

デジタル技術を使ってリアルとデジタルを融合し、顧客体験と従業員体験を向上させるデジタルトランスフォーメーションに取り組んでいます。

- 顧客体験の革新
- 従業員体験の向上

潜在的な願いをかなえる

顧客と常時つながることを通じて、顧客が必要とするものを予測、先回りして潜在的なニーズをかなえます。



富士通の取り組み

データ分析や映像解析のソリューションを提供し、顧客が何をしたいのかの予測や、サプライチェーンの高度化による廃棄ロスの削減などを支援します。

- 需要予測・自動発注
- 顧客行動分析

ライフサイクル・エコシステム

様々なサービスが顧客のライフサイクルに溶け込み、別のサービスの中に埋め込まれて目に見えない形で提供されていきます。



富士通の取り組み

異業種をデータとデジタル技術で結び、生活者のライフサイクルをサポートするエコシステムの構築を支援します。

- 自己主権型の分散ID技術
- マルチ生体認証
- APIエコノミー

パーソナルヘルス

病気の治療だけでなく、一人ひとりの健康を増進するウェルビーイングサービスへとヘルスケアは発展していきます。



富士通の取り組み

様々なデータをつなぐことにより、パーソナライズされた医療や健康増進サービスの実現を支援し、健康寿命の延伸に貢献します。

- パーソナライズされた医療
- オンライン診療

ライフサイエンス・イノベーション

ライフサイエンスとコンピュータ・サイエンスが融合することによって、創薬や病気の治療にイノベーションをもたらします。



富士通の取り組み

スーパーコンピュータ、量子コンピューティング技術デジタルアニーラ、AI技術などをライフサイエンス領域に応用しています。

- AI技術によるがんのゲノム医療
- 創薬プロセスの革新

スマートヘルス・エコシステム

医療データや健康データを様々な分野の組織や企業が安心・安全に利用できる仕組みを構築します。



富士通の取り組み

様々なパートナーと協力し、エンドツーエンドで情報を連携させるウェルビーイング・プラットフォームの構築に貢献していきます。

- 製薬向けITソリューション
- 地域医療連携
- ウェルビーイングサービスの共創

生活者視点の公共サービス

誰一人取り残さない社会の実現に向けて、生活者一人ひとりのニーズに寄り添ったパーソナライズされた公共サービスの提供が重要です。



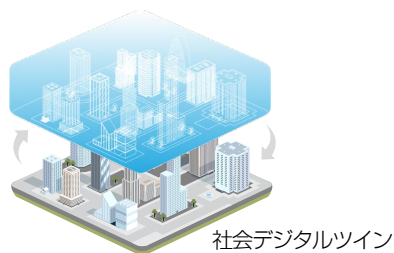
富士通の取り組み

データとデジタル技術を活用し、公共サービスのトランスフォーメーションを支援します。

- 人に寄り添う公共サービス
- 信頼あるデータ連携とプライバシー保護
- デザイン思考を活用したサービスの共創

レジリエントな社会

リアルタイム・データを使って何が起こりうるかを予測することを通じて、自然災害の影響を軽減すると共に、環境負荷の低減に役立てていきます。



富士通の取り組み

最先端のテクノロジーを活用したソリューションを提供し、変化への対応力を持つしなやかな社会づくりに貢献します。

- スーパーコンピュータの社会実装
- 防災
- 都市のモビリティ

スマートシティのエコシステム

信頼できるスマート社会を実現するためには、様々な領域のデータを連携するための制度と基盤となるテクノロジー・アーキテクチャが不可欠です。



富士通の取り組み

データ流通の仕組みづくり、都市OSの整備、デジタル技術とデータを活用した未来のまちづくりに貢献します。

- デジタルトラストの社会実装
- まちづくり
- 分散型の仮想発電所 (VPP) 普及

Digital Shifts

人が能力を最大化できる環境を整え、データを活用してステークホルダーへの価値を継続的に向上する経営への変革が求められます。



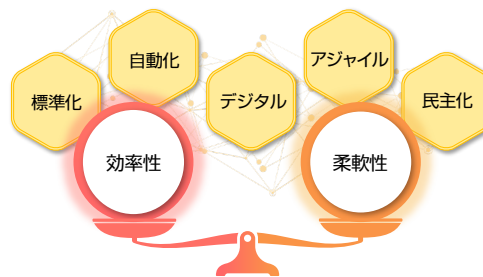
富士通の取り組み

自らの変革の経験をもとに、お客様のビジネス変革を支援します。

- Work Life Shift によるウェルビーイングの向上
- 顧客や従業員の声 (VOICE) の分析と活用
- 高度なデータ活用

Business Applications

不確実な環境において、ビジネスの効率性を維持しつつ柔軟に変化に対応し、危機においても事業を継続できるレジリエンスを高めることが重要です。



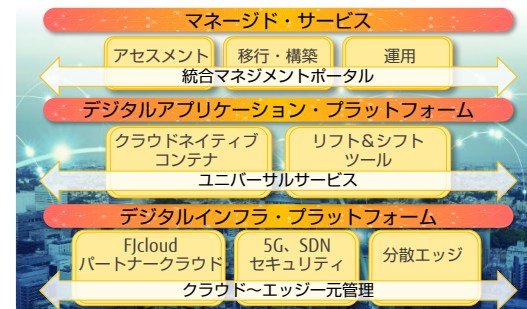
富士通の取り組み

グローバルサービス組織がアジャイル開発を加速すると共に、効率性を追求した標準化を進め、ビジネスを支援します。

- グローバルサービス
- 戦略パートナー協業
- クラウドインテグレーション

Hybrid IT

ボーダレスライフの社会のセキュリティを守り、人とデータ、サービスをつないで新しい価値を創造する、しなやかなデジタルインフラの構築が必要です。



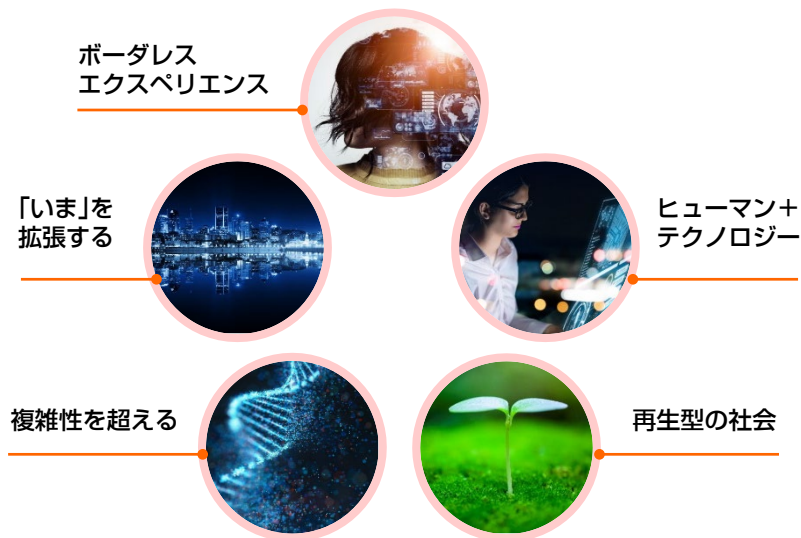
富士通の取り組み

インフラからデジタルアプリ開発基盤までを統合的に提供するHybrid ITと共に、ボーダレスな働き方を実現するセキュリティサービスを提供し、お客様のデジタルトランスフォーメーションの実現を支えます。

- Hybrid IT
- セキュリティ

ヒューマンセントリックイノベーション

富士通はヒューマンセントリックという考え方のもとでテクノロジーの開発と社会実装に取り組んでいます。わたしたちが考える5つのテクノロジー・イノベーションのビジョンをご紹介します。



ボーダレス・エクスペリエンス

場所と時間から解放される

5G、VR/AR、AI等のテクノロジーを融合させることにより、リアルとデジタルの境界線を打ち破り、ヒューマンセントリックな体験を実現することができます。



富士通の取り組み

5G技術を活用した革新的な体験の共創、ボーダレスな動き方や体験を支える技術開発やパートナーとのオープンイノベーションを進めています。

誰も取り残さない体験



ボーダレス
コラボレーション



「いま」を拡張する

予測ファーストの社会

社会全体のリアルな動きをデジタル空間にすべて写像する社会デジタルツインによって、わたしたちが見ることができる「いま」をもう少し未来にまで拡張することが可能になります。



富士通の取り組み

スーパーコンピュータの計算能力と最先端のAI技術を組み合わせた実世界の精緻な予測や、リアルタイム・ストリームデータ処理技術を活用した大規模なデジタルツインの実現に取り組んでいます。

災害へのレジリエンス



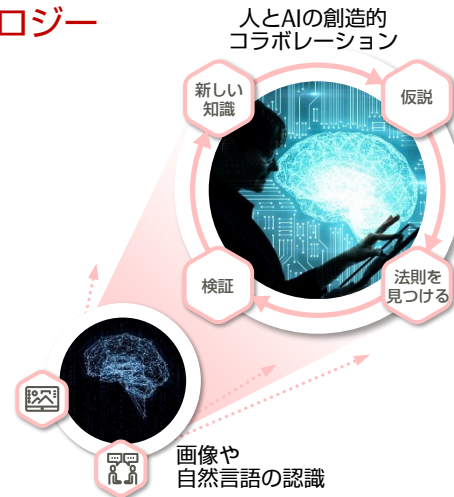
安心安全なモビリティ



ヒューマン+テクノロジー

発見するAI

現在のAI技術はデータ間の因果関係を推論することはできません。わたしたちが必要とするのは、因果関係を見出し、新発見につながる重要な仮説を立て、それらを検証するAI技術です。



富士通の取り組み

がんゲノム医療への説明可能なAIの適用を推進すると共に、人の全ゲノム情報の因果関係の推論に取り組み、がん治療の前進に貢献していきます。

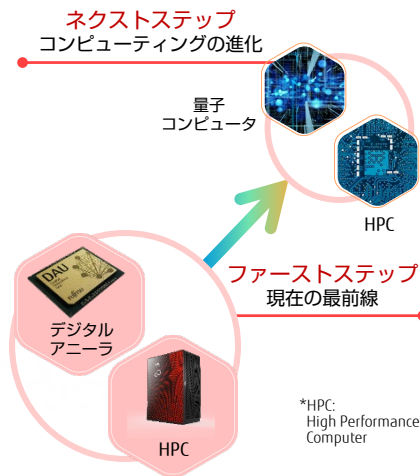
がんゲノム医療



複雑性を超える

解けない問題を解く

量子コンピューティング技術が急速な進歩を遂げています。そのファーストステップである富士通の量子インスパイアード技術デジタルアニーラによって、例えば創薬プロセスを加速することが可能になりました。長期的には、量子ゲート方式の量子コンピュータの実現が期待されます。



富士通の取り組み

デジタルアニーラの社会実装と共に、超伝導量子コンピュータの研究開発など、世界トップレベルのパートナーとエコシステムをつくってイノベーションの実現に取り組んでいます。

新素材開発による
CO₂排出の抑制



医療のブレイクスルー



再生型の社会

つながりあった地球規模の問題

信頼性を担保された公共・産業データが自由に流通することによって新たな価値創造を活性化することができます。この実現の鍵となるのが、データの真正性などデジタルトラストを支える技術であり、国や地域の中だけでなくグローバルに相互認証を行う仕組みが不可欠です。



富士通の取り組み

無形の価値を安全・確実に取引できる新しいブロックチェーン技術やデジタルトラスト仲介技術の研究開発に取り組んでいます。

食品ロスの抑制



無形の価値に
もとづく経済



ものづくり

🇬🇧 GKN Aerospace

AI技術を活用した欠陥検出ソリューションを構築し、品質検査工程を自動化、検査時間を短縮することで、品質検査員を支援しています。



🇧🇪 AB InBev

大麦農家から醸造所までをつないだブロックチェーンを構築し、生産性向上や環境負荷の低減につなげる取り組みを進めています。



顧客体験

🇰🇷 BGF

AIによる顧客行動・商品認識と手のひら静脈認証を活用した無人店舗で新たな購買体験を提供しています。



🇯🇵 イオンリテール

AI画像解析を活用して混雑時の入場制限や従業員のより良い接客を支援すると共に、データを活用した店舗変革にも取り組んでいます。



健康な生活

🇯🇵 ペプチドリーム

デジタルアニーラとHPCを活用した創薬、さらに、パートナーと合弁会社を設立し、新型コロナウイルス感染症治療薬の開発に取り組んでいます。



🇯🇵 東京品川病院

新型コロナウイルス診断に寄与する画像診断支援AI技術を開発し、医師の負担軽減に寄与すると共に、非専門医による画像診断を支援します。



都市と社会

🇨🇦 Proventia

排気ガス後処理装置とIoTプラットフォームを組み合わせた排気ガスのリアルタイムモニタリングでCO₂排出削減に貢献しています。



🇨🇦 モントリオール市

AI技術を活用したリアルタイム交通量分析と信号制御を実施し、渋滞緩和や除雪処理の迅速化を目指した協調を進めています。



🇺🇸 オハイオ州ダブリン市

5GネットワークとAI画像分析技術を活用して駐車場の混雑情報を提供し、ダブリン市のスマートシティ構想の実現に貢献しています。



🇯🇵 広島県大崎上島町

オンデマンド交通サービスと自動運転技術を組み合わせて離島の人々の暮らしを支える実証実験を実施しました。



富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2

汐留シティセンター

電話：03-6252-2220（代表）

0120-933-200（富士通コンタクトライン）

<https://www.fujitsu.com/jp/>

商標について

記載されている製品名などの固有名称は、各社の商標または登録商標です。

将来に関する予測・予想・計画について

本冊子には、富士通グループの過去と現在の事実だけではなく、将来に関する記述も含まれていますが、これらは、記述した時点で入手できた情報に基づいたものであり、不確実性が含まれています。したがって、将来の事業活動の結果や将来に惹起する事象が本冊子に記載した内容とは異なったものとなる恐れがありますが、富士通グループは、このような事態への責任を負いません。読者の皆様には、以上をご承知いただきますようお願い申し上げます。

「Fujitsu Technology and Service Vision」の一部または全部を許可なく複製、複製、転載することを禁じます。

©2021 FUJITSU LIMITED

2021年6月発行

